

# 主題名 「 2つの教材から考える『よりよい生き方』とは 」（第5学年 A-1 善悪の判断、自律、自由と責任 A-2 正直、誠実）

## ■本事例のポイント

1. クラウド環境を整えることで、児童がお互いの学習状況を把握し、自ら進んで友達と意見交流を行えるようにした。
2. オンラインホワイトボードを活用し、他者参照を通した多面的・多角的な学びの実現を目指した。

## ■ユニット学習の目標

2つの教材を用いて「よりよい生き方」について多面的・多角的に考えを深める活動を通して、正直な心の大切さや自らの信念に従つて自律的に判断し、実行することの大切さについて理解を深め、自分自身にとってのよりよい生き方について様々な視点から追求していくとする態度を育てる。

\* ユニット学習…テーマに基づいた複数の価値を関連付けて、複数時間で小単元化して構成する授業方法

## ■ユニット学習の指導計画（2時間）

### 第1時

#### 「うばわれた自由」

- ・「本当の自由」について自分の考えをもち、友達との意見交流を通して考えを深める。

### 第2時

#### 「手品師」

- ・「誠実な生き方」について自分の考えをもち、友達と意見交流をしながら考えを深める。
- ・単元の目標である「よりよい生き方」について、2時間の学習で扱った「本当の自由」と「誠実な生き方」を踏まえて、自分の考えをまとめる。

## ■本時の概要

### 学習課題:誠実な生き方について考えよう。

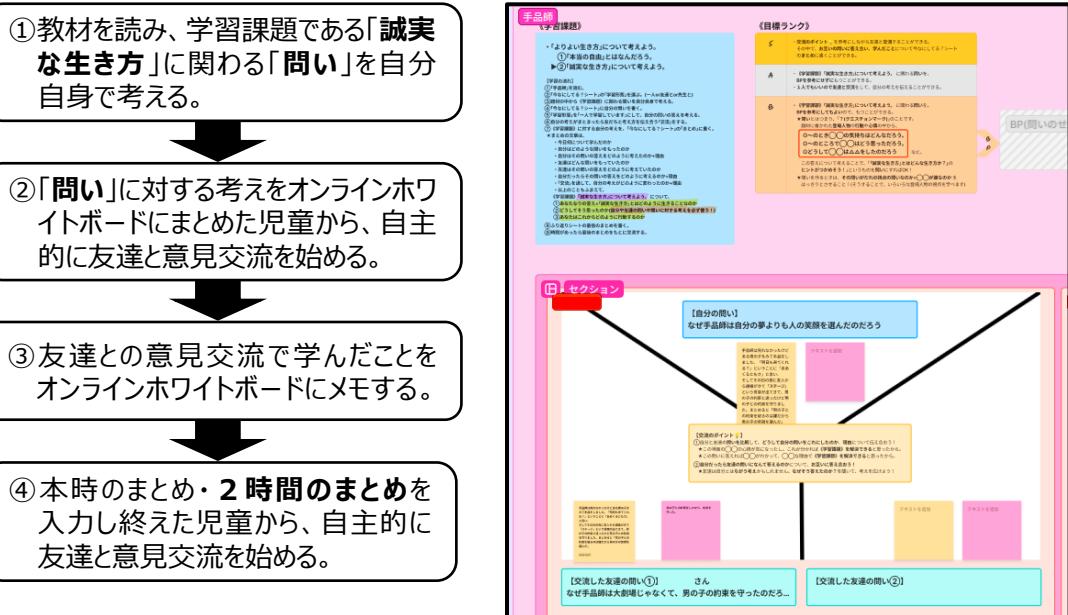
- ①教材を読み、学習課題である「誠実な生き方」に関わる「問い合わせ」を自分自身で考える。

- ②「問い合わせ」に対する考え方をオンラインホワイトボードにまとめた児童から、自主的に友達と意見交流を始める。

- ③友達との意見交流で学んだことをオンラインホワイトボードにメモする。

- ④本時のまとめ・2時間のまとめを入力し終えた児童から、自主的に友達と意見交流を始める。

オンラインホワイトボードの一部



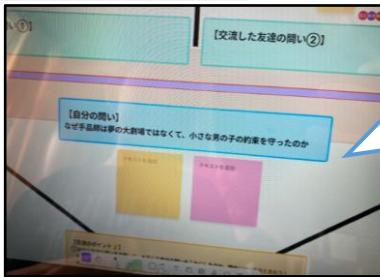
オンラインホワイトボード上には、児童一人ひとりの考え方の他に、**学習の流れ・ループ**・**リンク**・**問い合わせ**をもつためのヒント・その他資料へのリンクが用意されています。



## ■学習調整をしている子供の姿

### 子供が学び方を選択・決定する場面の設定

| 自分の問い                                     | 学習形態            |
|---|-----------------|
| なぜ手品師は自分の男の友達と、大劇場を選ばずに、小さな男の子の約束を選んだのだろう | 一人で学習しています      |
| なぜ手品師は夢だった大劇場を選ばずに、小さな男の子の約束を選んだのだろう      | 一人で学習しています      |
| なぜ大劇場のチャンスがあったのに一人の男の子のために、チャンスを逃したのか?    | 一人で学習しています      |
| 電話がかかってきたときどうのうごとを考えたか?                   | 一人で学習しています      |
| なぜ手品師は迷い、逃したのだろう。                         | 一人で学習しています      |
| どうして、自分の幸せより、男の子の幸せを優先したのだろう              | 一人で学習しています      |
| なぜ手品師は大劇場に当られるチャンスだったのに逃したのか?             | 友だちと考えを交流したいです  |
| なぜ手品師は、盛大なチャンスを前に男の子との約束を守ったのだろう          | 友だちとと考えを交流したいです |



意見交流の場でお互いの「問い合わせ」に答え合うことで、学習課題について**多面的・多角的な視点**に立ちながら、議論を通して考えを深めることができます。

**Point!**

### 子供が自らの学習を振り返る場面の設定

#### \*「よりよい生き方」とはどんな生き方だろう?

自分が得できるような生き方で生きてほしいと思う

#### \*「うばわれた自由」

なぜシェーラー王は逃ったのだろう  
今日は「うばわれた自由」について学習しました。私が思う本当の自由は選択を尊重し、自分を見て自由に行動することだと思います。そしてかといって過度を守らずに行動してしまうシェーラー王のように一人が犯されてしまうことでどんどん周りも同じになってしまふと思うからです。自分の思いは「シェーラー王はなぜ突然謝ってきたのか?」でした。その間に自分で考えて私は「シェーラー王はなぜ思っているのか?」と聞いていました。そこでシェーラー王が謝ったのを聞きました。シェーラー王は「自分は思っていませんでした」とおっしゃっていました。そこでシェーラー王が謝ったのを聞く中の人たちとどんなみんな手な行動をしてしまい、井、ガブリエルの話を聞いていたら自分はこんなにならなくなってしまったかもしれないともおもつたからです。

#### \*「よりよい生き方」とはどんな生き方だろう?

自分自身をちゃんと見て生きることだと思います。

#### \*1~3の学習を生かしてもう一度「よりよい生き方」について考えてみよう!

わたしは、よりよい生き方とは**\*自分が納得できるような生き方**で生じるだと思います。  
「うばわれた自由」では、「本当の自由」とは、「TPOを守らないから自由に行動することを選びました」

「手品師」では、「誠実」に生きるには、「約束を守らなければなりません。相手になにか決めてきた、真摯に向こうでいくことを学びました」

これからは、★TPOを守り、周囲を見て誠実に生きていきたいです。理由は、★TPOを守ることで周りに迷惑がかかることがなくなり、自分に向こうで生きていけると思ひます。

#### \*2手品師

なぜ手品師は夢だった大劇場を選ばずに、小さな男の子の約束を選んだのだろう

私のなりたい生き方は、「約束の限らず、相手になにかされたとき、真摯に向こうでいくこと」だと私は思います。今日は手品師について勉強しました。私の間は、「なぜ手品師は夢だった大劇場を選ばずに、小さな男の子の約束を選んだのだろう」という質問でした。この質問について私はお父さんはなくなってしまい、お母さんは仕事で帰ってこれない中約束をした小さな男の一人で守っているから一貫にして約束を守らなければいけないと手品師は思ったからだと思います。それについてシェーラー王は「自分は思っていませんでした」とおっしゃっていました。そこでシェーラー王が謝ったのを聞く中の人たちはどんなみんな手な行動をしてしまい、井、ガブリエルの話を聞いていたら自分はこんなにならなくなってしまったかもしれないともおもつたからです。

#### \*1~3の学習を生かしてもう一度「よりよい生き方」について考えてみよう!

わたしは、よりよい生き方とは**\*自分自身をちゃんと見て生きること**だと思います。

「うばわれた自由」では、「本当の自由」とは、「決まりられたルールやマナーを守り自分がしたいことを自由にする」



二つの題材で学んだことを基に「よりよい生き方」に対する自分の考えをまとめることで、2時間の学習を通じた考え方の深まりを確認することができます。

## ■指導と評価の工夫

### ①個々の学習状況を大型モニター上で共有

- \*児童は、「一人で・友達と・先生と」から自分に合った学習形態を選択し、課題に取り組むことができる。
- \*考えがまとまった児童は、学習形態を「友達と考えを交流したい」に変更し、意見交流の相手を容易に見付けることができる。
- \*教師はモニターで状況を把握し、必要に応じた支援ができる。

### ②他者参照を通して議論を活性化

- \*モニターやオンラインホワイトボードで、友達の「問い合わせ」や、学習状況を確認し、目的に応じた意見交流の相手を探すことができる。
- \*お互いの「問い合わせ」に答え合うことで、学習課題について多面的・多角的に考えることができる。

### ③2時間の学習のまとめをポートフォリオ化

- \*学習前後の考え方と、各時間の「問い合わせ」とまとめを一覧表示するポートフォリオを活用することで児童の変容を見取ることができる。
- \*友達のポートフォリオを参照して気になった点を基に、自主的に意見交流をすることができる。

## ■成果(○)と課題(▲)

- クラウド環境を整えたことで、全ての児童が自分の考えをもち、自主的に友達と意見交換を行うことができた。
- 2時間の学習の成果をポートフォリオ化したことで、自分の学びを振り返りながらまとめを入力することができたため、考え方を深めた児童が多くかった。
- ▲教師のつくった型に沿って学習を進めることができたため、児童に委ねる場面を少しずつ増やし、子供主体の授業づくりを目指す。